

令和4年6月

令和4年	4月	～	6月期	実績
令和4年	7月	～	9月期	見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

主要景況項目の動き.....	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移	23
* 平成15年1月以降	
〔集計資料〕	

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

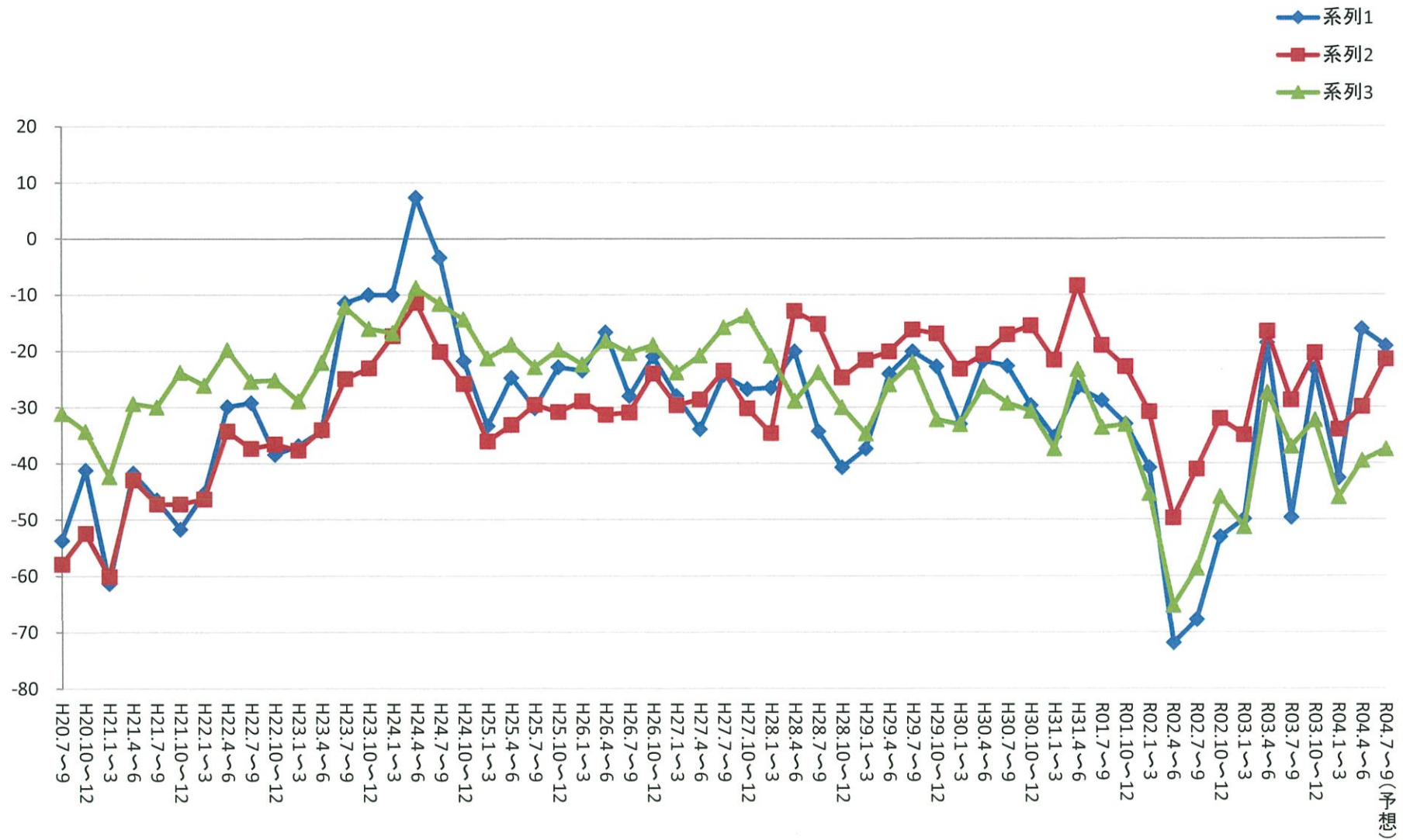
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[岩手県 産業全体]

主要景況項目の動き ―前年同期比―



業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	令和2年 7～9月	10～12月	令和3年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	令和4年 1～3月	(今期) 4～6月	(見通し) 7～9月
製 造 業	 雨	 雨	 雨	 薄 曇	 曇	 曇	 雨	 晴	 晴
建 設 業	 雨	 雨	 雨	 曇	 雨	 曇	 曇	 薄 曇	 曇
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 雨	 雨	 雨	 曇	 雨	 曇	 雨	 雨	 曇

売 上 高 D I	100.0 ～30.1	30.0 ～10.1	10.0 ～△10.0	△10.1 ～△30.0	△30.1 ～△100.0
表 示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雨

全産業の推移

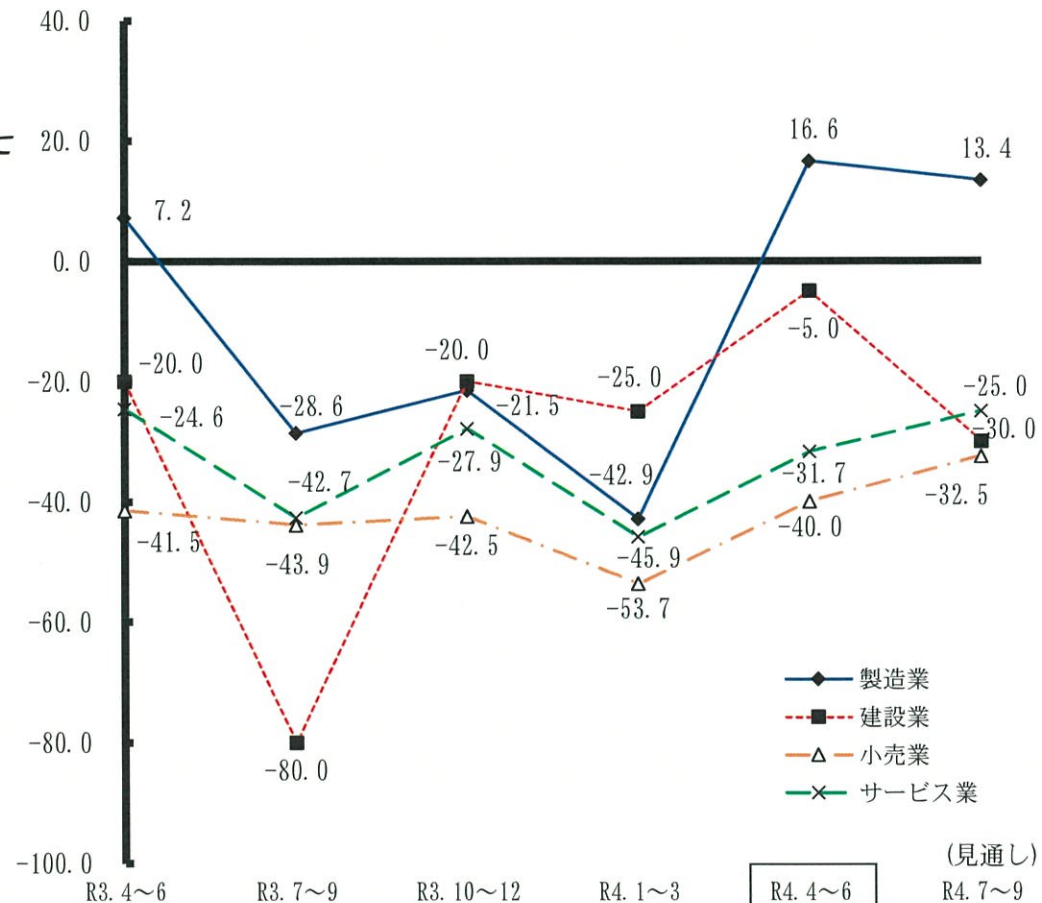
売上高

全業種において売上高D・Iが改善
製造業は大幅に改善してプラス域に

今期の売上高D・Iは、全業種が改善となりました。特に製造業は59.5ポイントの大幅な上昇により4期ぶりにプラス域に達し、16.6となりました。建設業も20.0ポイントの上昇によりマイナス幅を大きく縮小して△5.0まで改善しました。小売業も13.7ポイント上昇して△40.0まで改善しています。サービス業も上昇して△31.7まで改善しました。

来期は、今期比較的上げ幅が小さかった小売業、サービス業において引き続き改善が見込まれるものの、今期の上げ幅が大きかった製造業、建設業は悪化に転じる見通しです。

※建設業の売上高は完成工事高



全産業の推移

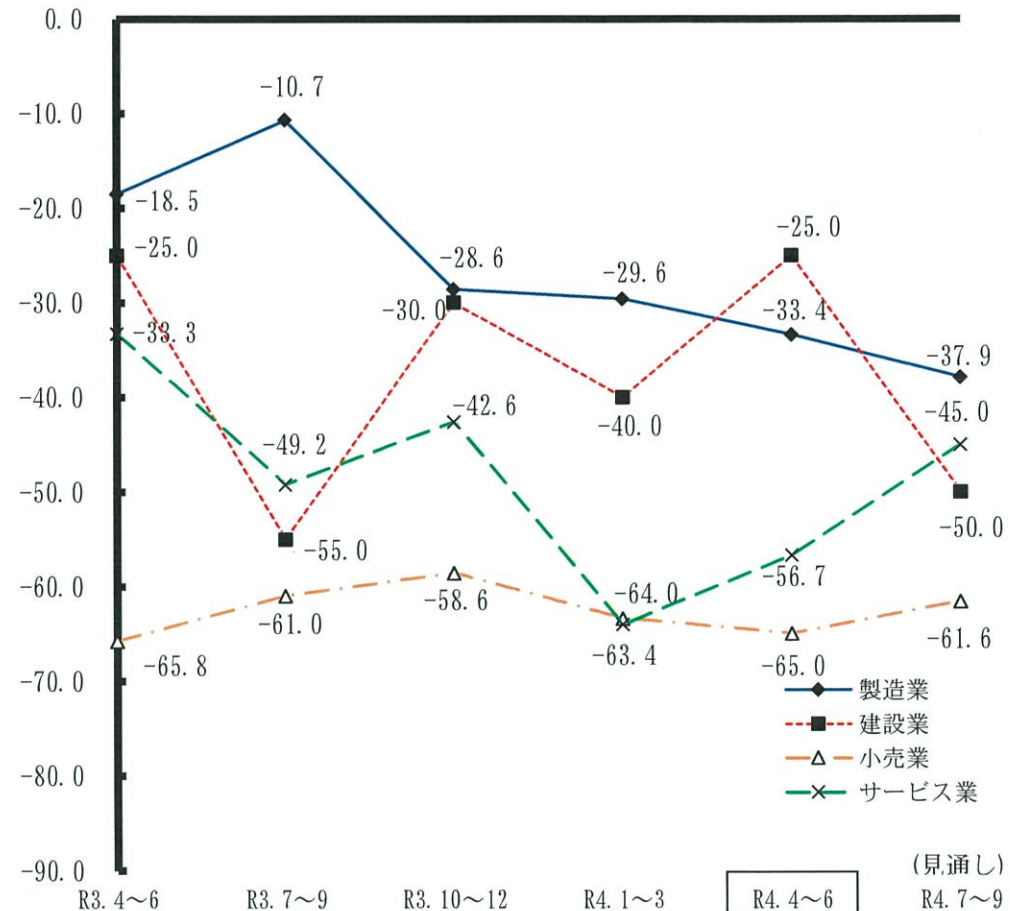
採 算

建設業・サービス業において採算D・Iが改善
製造業・小売業が悪化

今期の採算D・Iは、建設業が15.0ポイントの上昇となり△25.0まで改善しました。前期大幅に悪化していたサービス業は7.3ポイント上昇して△56.7まで改善、製造業は2期連続の低下となり△33.4まで悪化、小売業は小幅な低下にとどまったものの2期連続の悪化となり1.6ポイント低下して△65.0まで悪化しました。

来期は、今期大幅に改善した建設業が低下に転じてマイナス幅を拡大する見通しです。また、製造業は4期連続の悪化が見込まれています。他方、サービス業は今期に引続き改善傾向が続き、小売業も小幅ながら改善に転じる見通しとなっています。

※採算は各業種とも経常利益



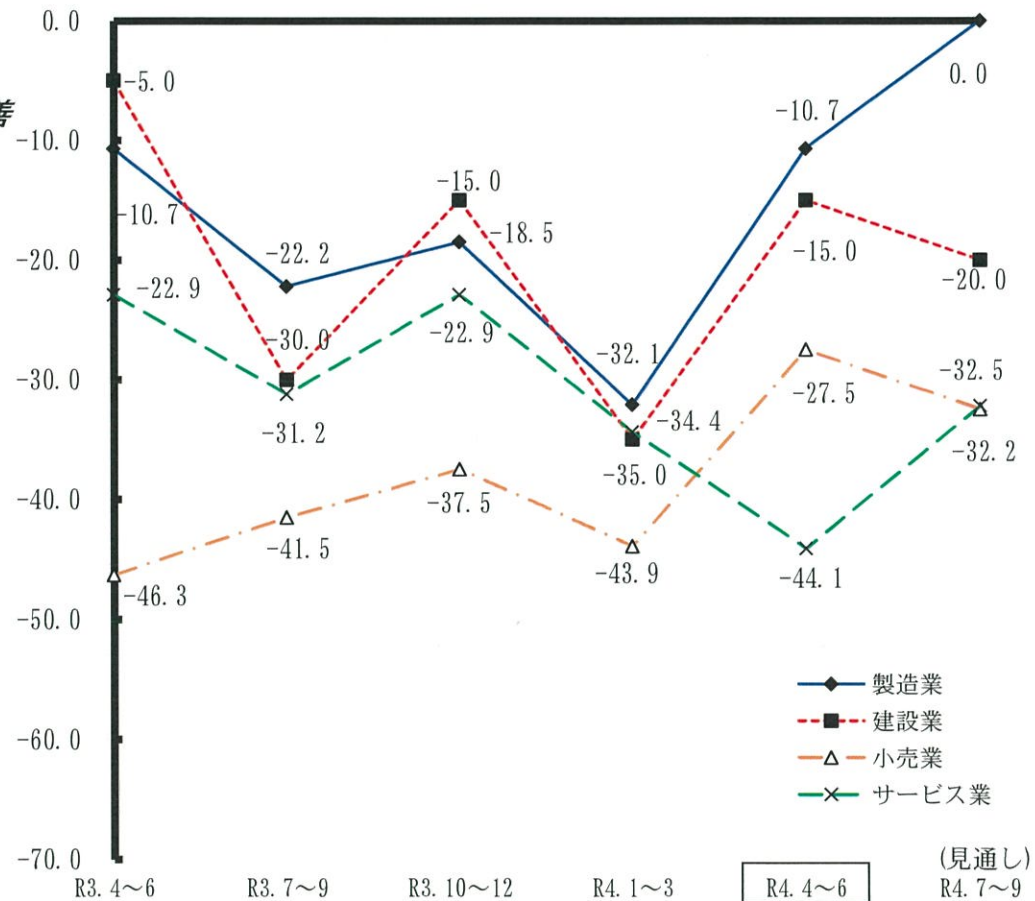
全産業の推移

資金繰り

サービス業を除く3業種において資金繰りが改善
サービス業が大幅に悪化

今期は、サービス業を除く3業種において資金繰りD・Iが改善しました。前期大幅に低下していた製造業が21.4ポイント上昇して△10.7まで改善しました。また、建設業も20.0ポイント上昇して△15.0、小売業も16.4ポイント上昇して△27.5まで改善しています。サービス業は2期連続の低下となり、9.7ポイント低下して△44.1まで悪化しています。

来期は、製造業が今期に引き続き改善し、また、悪化傾向にあったサービス業が改善に転じる見通しです。他方、今期大幅に改善した建設業、小売業においては悪化に転じることが予想されます。



製造業の推移

売上高

<今 期>

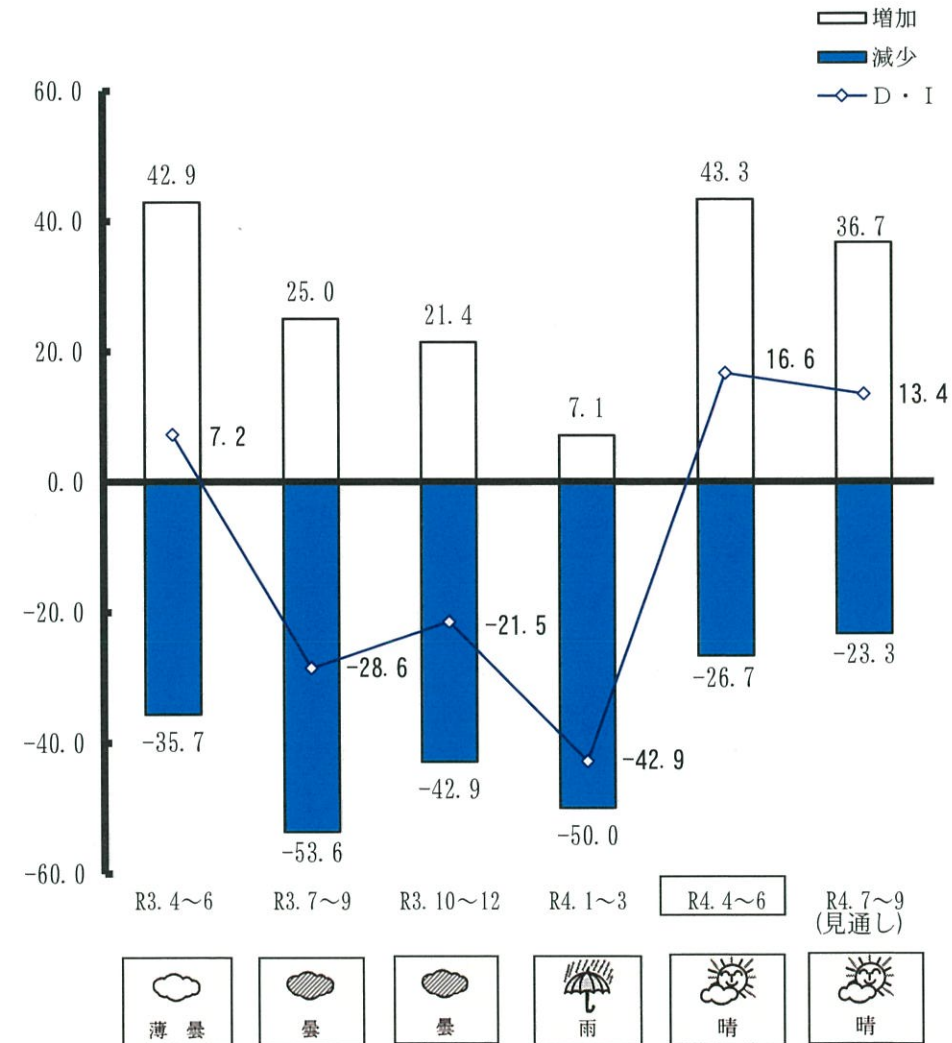


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が36.2ポイント増加し、売上高減少企業の割合が23.3ポイント減少したことから、売上高D・Iは59.5ポイントの大幅な上昇となって4期ぶりにプラス域に達し、16.6まで改善しています。景況天気図も雨から晴へと変化しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業割合が減少に転じるものの、売上高の減少を予想する企業割合が減少することから、売上高D・Iは小幅な低下にとどまり、引き続きプラス域を維持する見通しです。



製造業の推移

採算

<今 期>

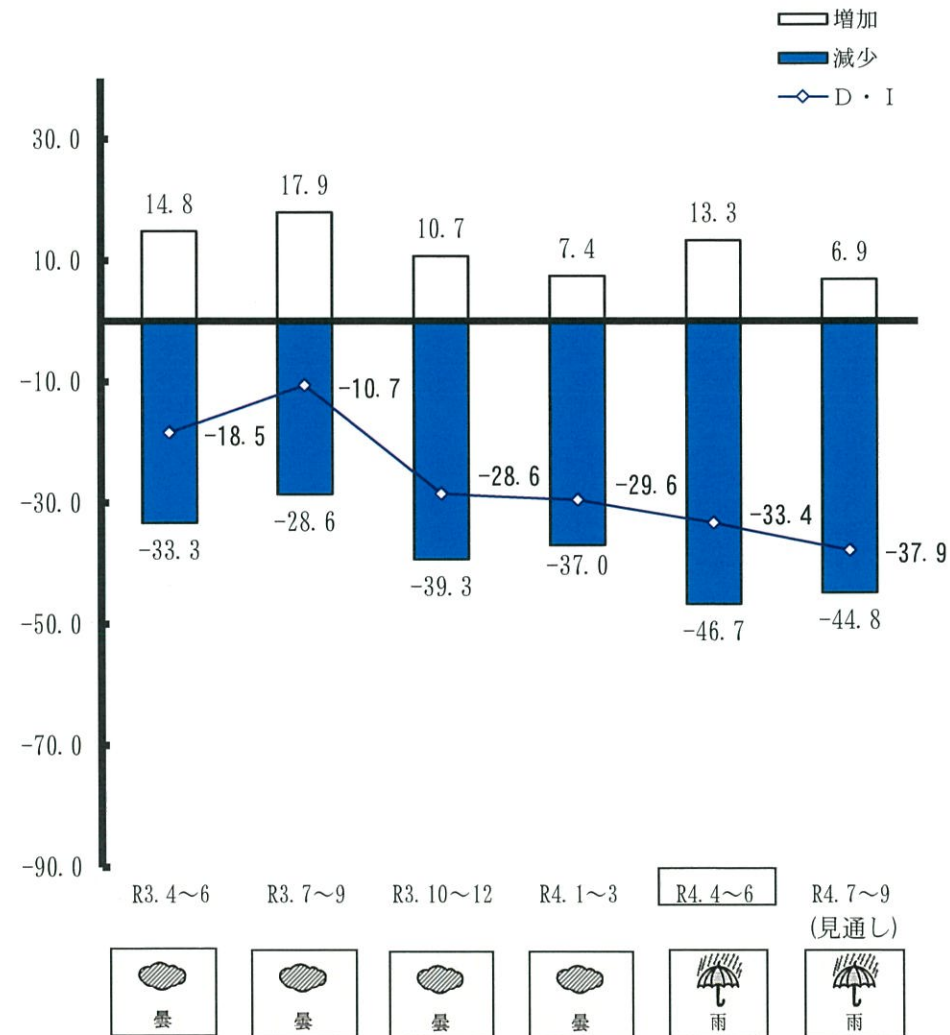


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が5.9ポイント増加したものの、採算が悪化した企業の割合が9.7ポイント増加したことから、採算D・Iは3.8ポイントの低下となり、△33.4まで悪化しました。

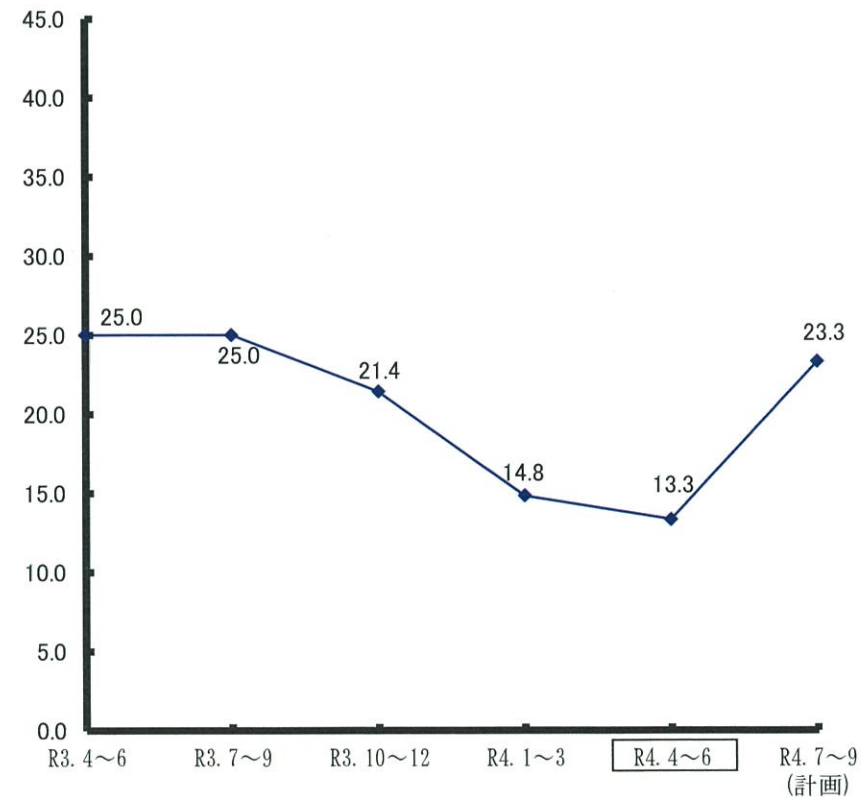
来期は、採算の悪化を予想する企業が減少するものの、採算の改善を予想する企業割合の減少幅が大きいことから、採算D・Iは、今期に引き続き悪化することが予想されています。



設備投資

今期製造業において設備投資を実施した企業数の割合は、前期から1.5ポイント減少し、13.3となりました。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は大幅に増加することが見込まれています。



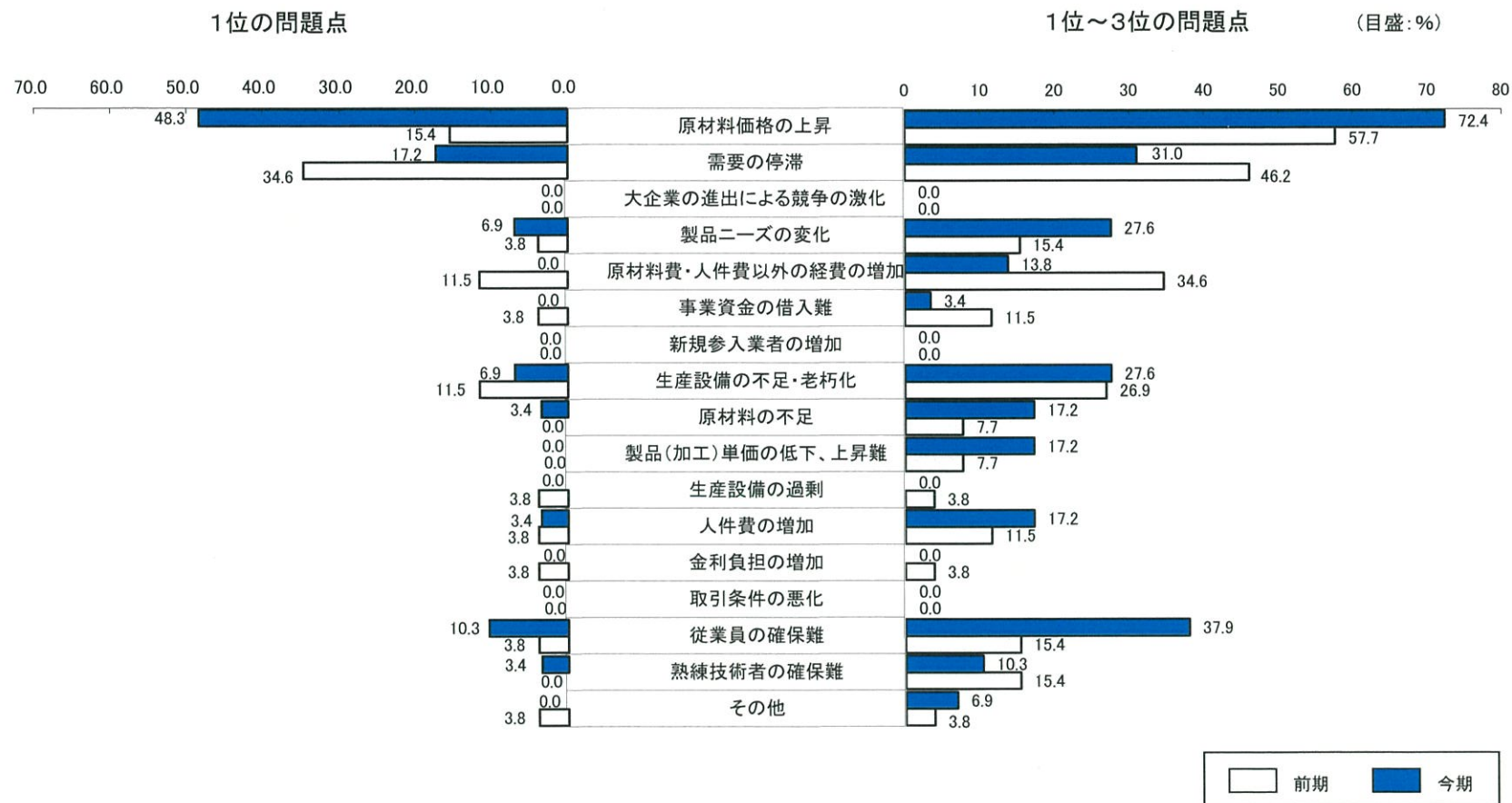
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

製造業の推移

経営上の問題点

岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



建設業の推移

売上高

<今 期>



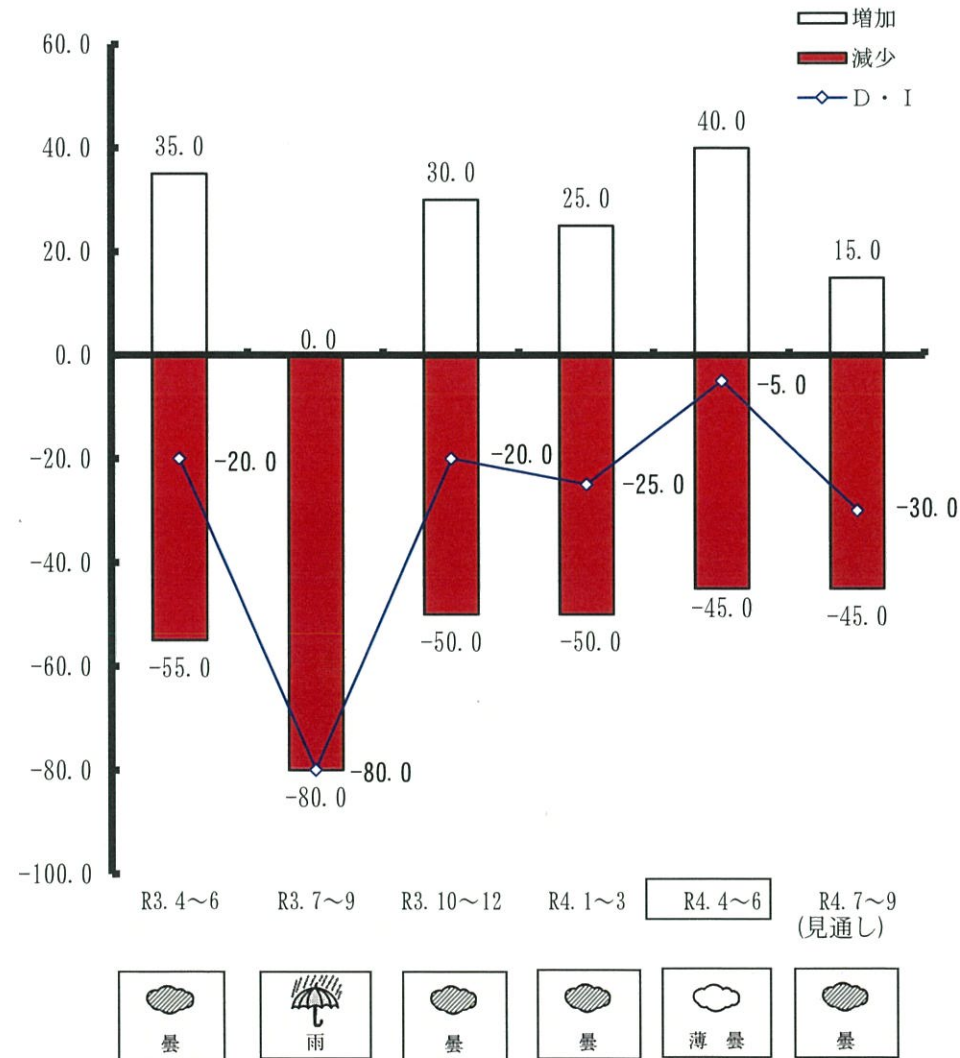
<来期見通し>



前期悪化に転じていた建設業の売上高 D・I は、今期は大幅に上昇してマイナス幅を大きく縮小しました。今期は、売上高が増加した企業割合が 15.0 ポイント増加し、売上高が減少した企業割合が 5.0 ポイント減少したため、売上高 D・I は上昇し、△5.0 まで改善しています。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合が大幅に減少し、売上高の減少を予想する企業の割合が増加するため、売上高 D・I は悪化に転じ、景況天気図も薄曇から曇へと変化することが予想されています。

※建設業の売上高は完成工事高



採算

<今 期>

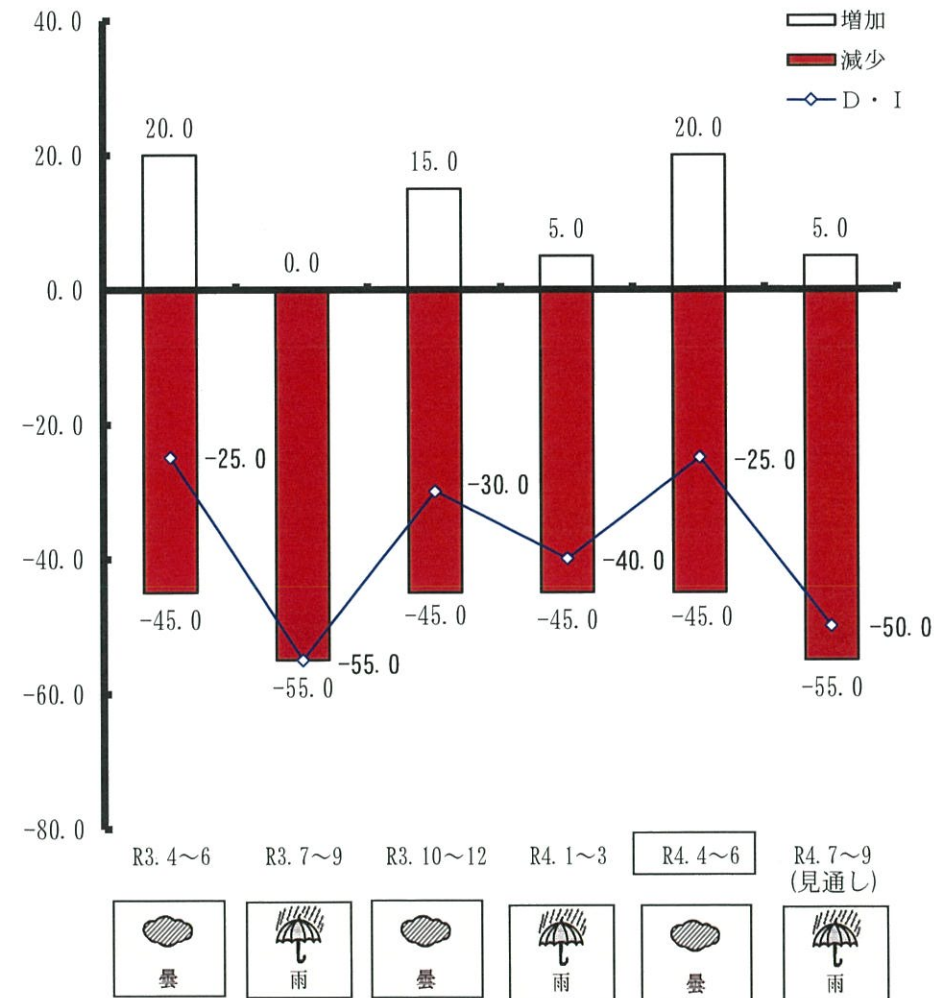


<来期見通し>



今期は、採算が悪化した企業の割合は横ばいに留まったものの、採算の改善を挙げた企業の割合が15.0ポイント増加したため、採算D・Iは15.0ポイントの上昇となり、△25.0まで改善しました。景況天気図も雨から曇へと変化しています。

来期は、採算の改善を予想する企業が大幅に減少し、また、採算の悪化を予想する企業が増加することから、採算D・Iは大幅に悪化することが予想されています。

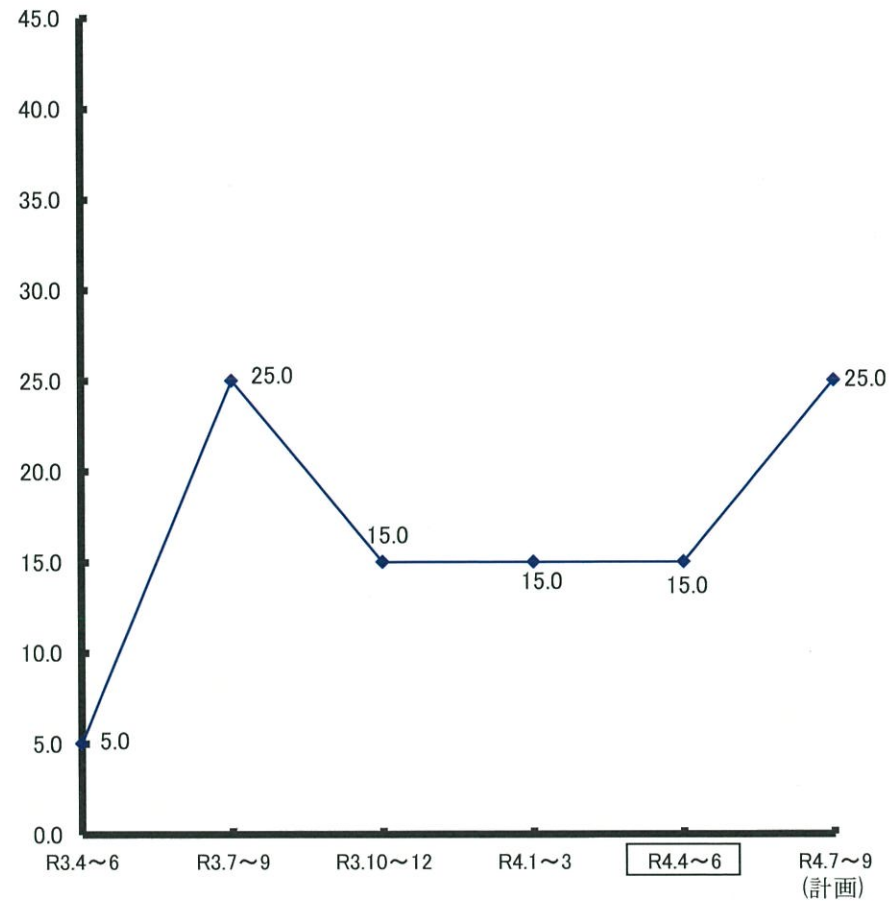


設備投資

建設業において設備投資を実施した企業数の割合は、前期はと同じレベルの15.0にとどまっています。

来期は設備投資を実施する企業数の割合は増加に転じる見通しです。

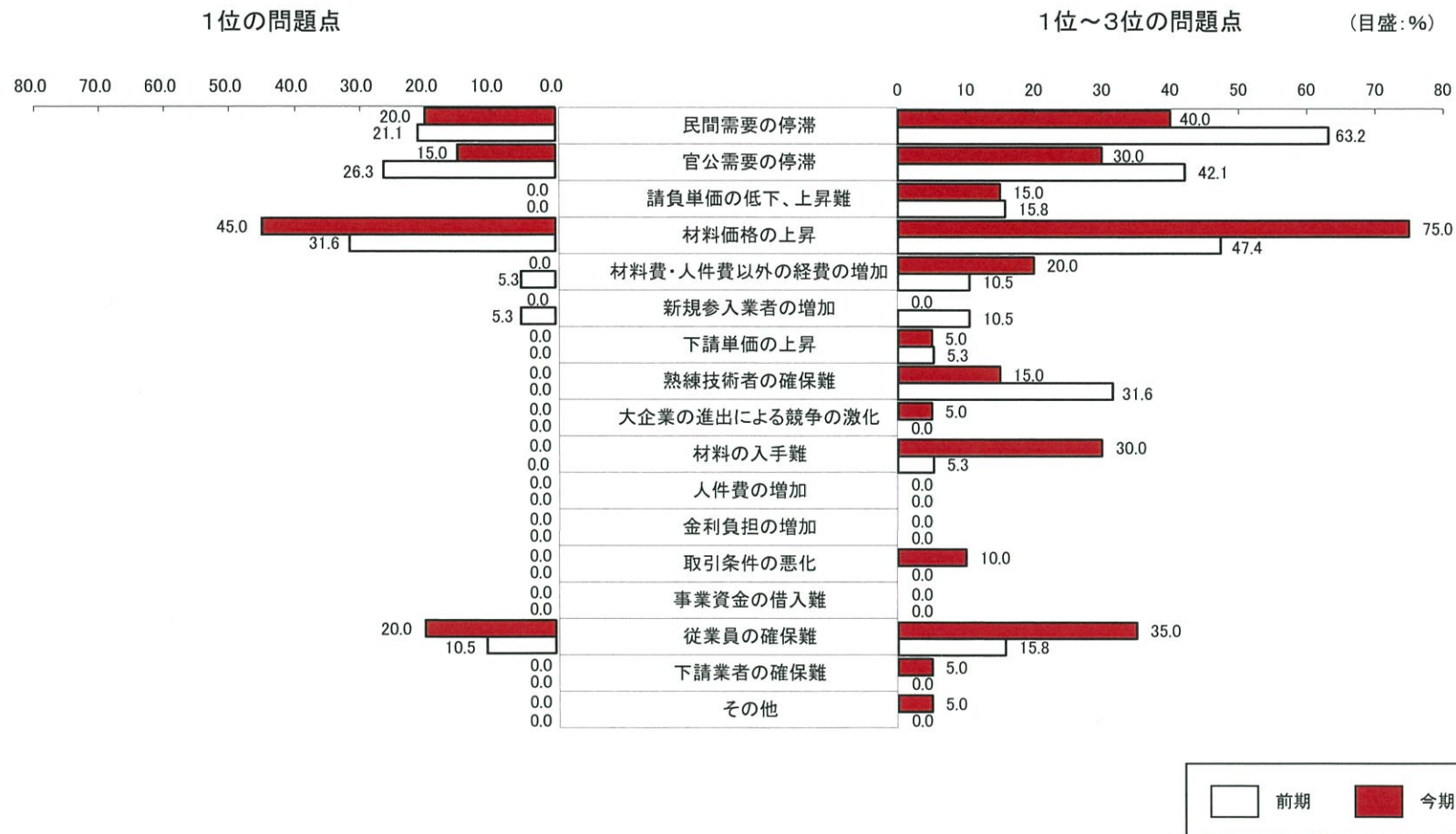
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



小 売 業 の 推 移

売 上 高

<今 期>

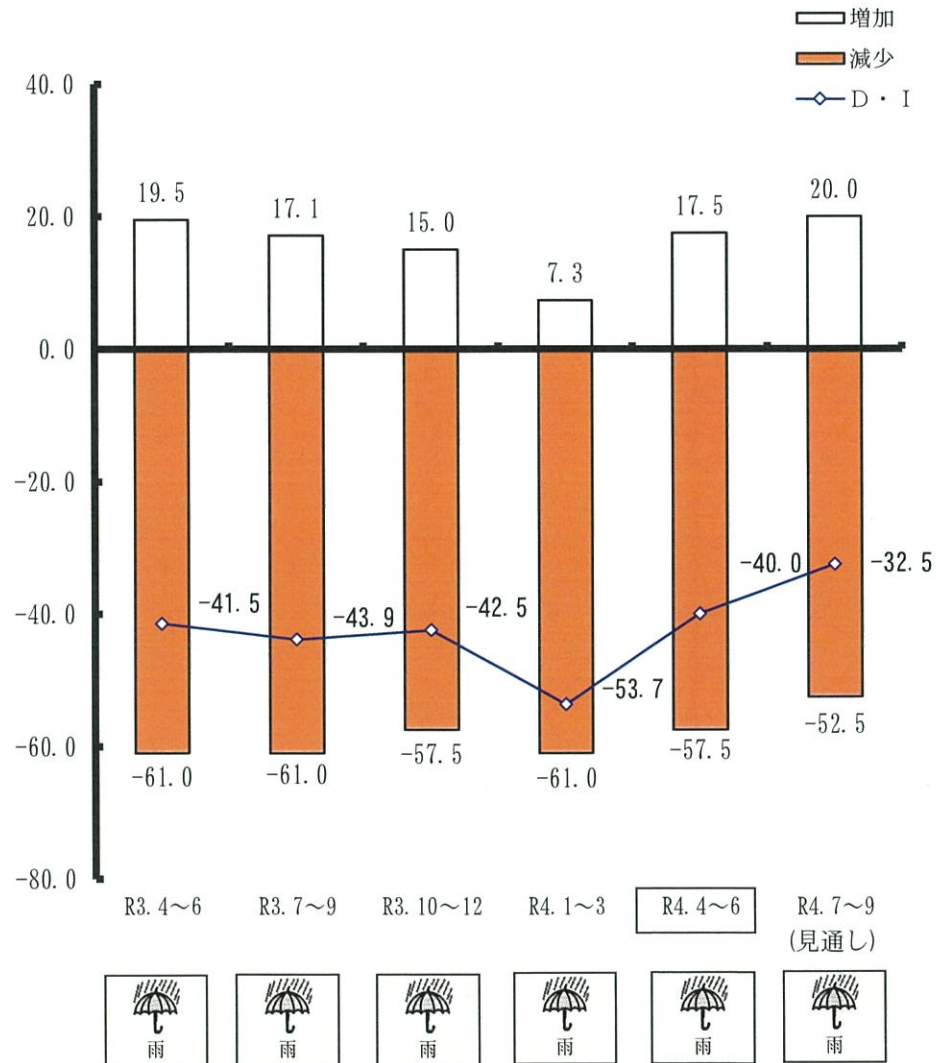


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が10.2ポイント増加し、また、売上高減少企業の割合が3.5ポイント減少したため、売上高D・Iは13.7ポイント上昇して△40.0となり、マイナス幅を縮小したものの、依然として低い水準に留まっています。

来期は、売上高の増加を予想する企業割合が増加し、売上高減少を予想する企業割合の減少が見込まれるため、売上高D・Iは改善傾向が続く見通しです。



小 売 業 の 推 移

採 算

<今 期>

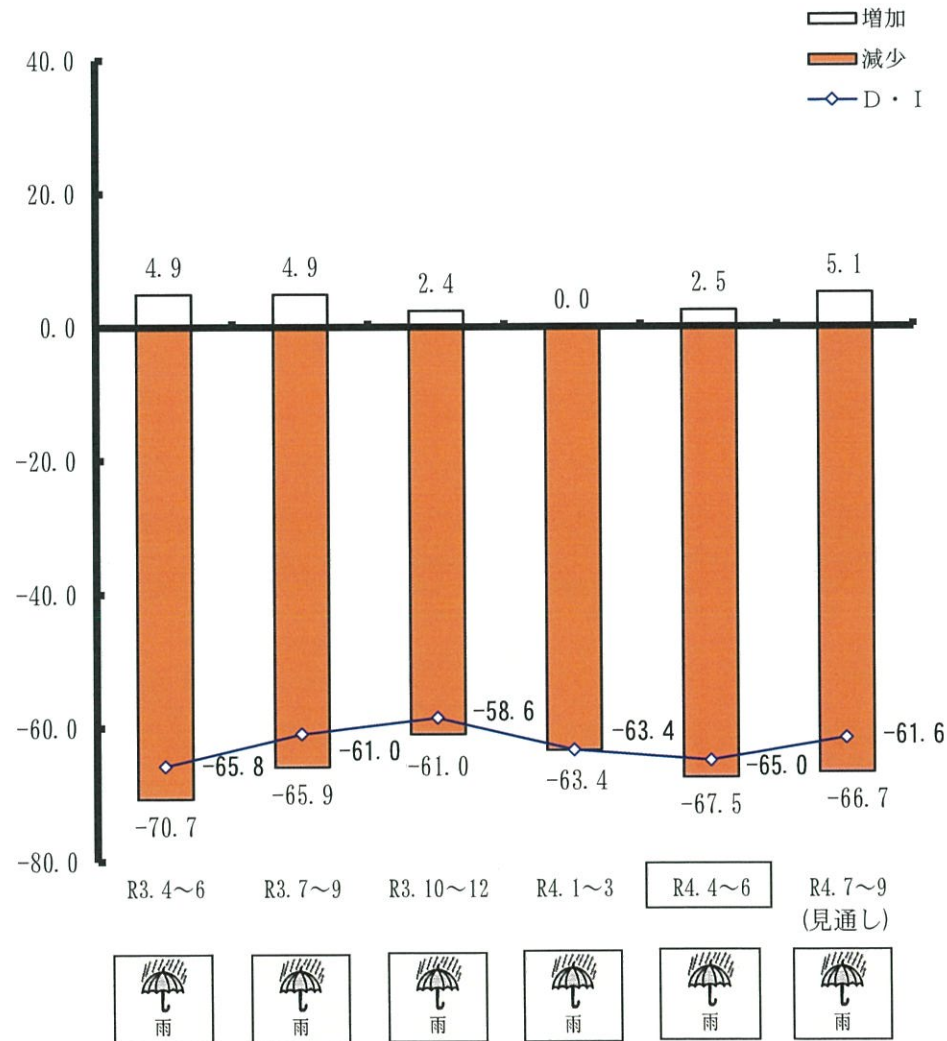


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合は僅かに増加したものの、採算が悪化した企業割合が4.1ポイント増加したため、採算D・Iは前期に引続き低下し、△65.0まで悪化してマイナス幅を拡大しています。

来期は、採算の好転を予想する企業割合が増加し、採算の悪化を予想する企業割合が僅かながら減少するため、採算D・Iは改善に転じることが見込まれますが、依然として低い水準にとどまる見通しです。

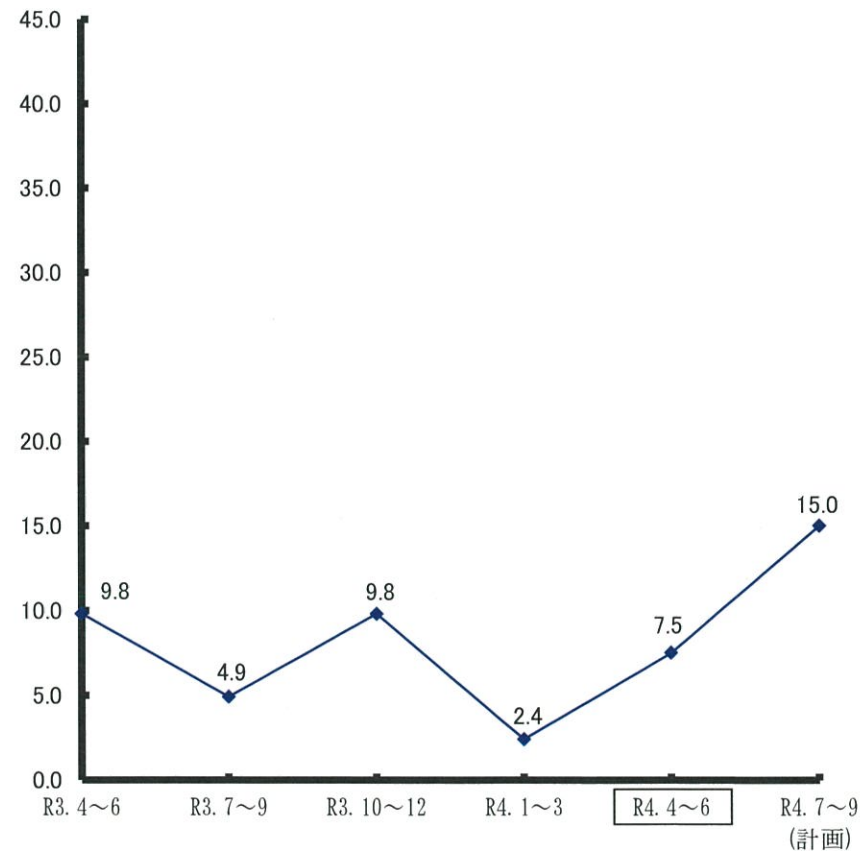


小 売 業 の 推 移

設 備 投 資

小売業において今期設備投資を実施した企業数の割合は増加に転じ、7.5まで増加しました。

来期は、設備投資を計画している企業数の割合は今期に引続き増加する見通しです。



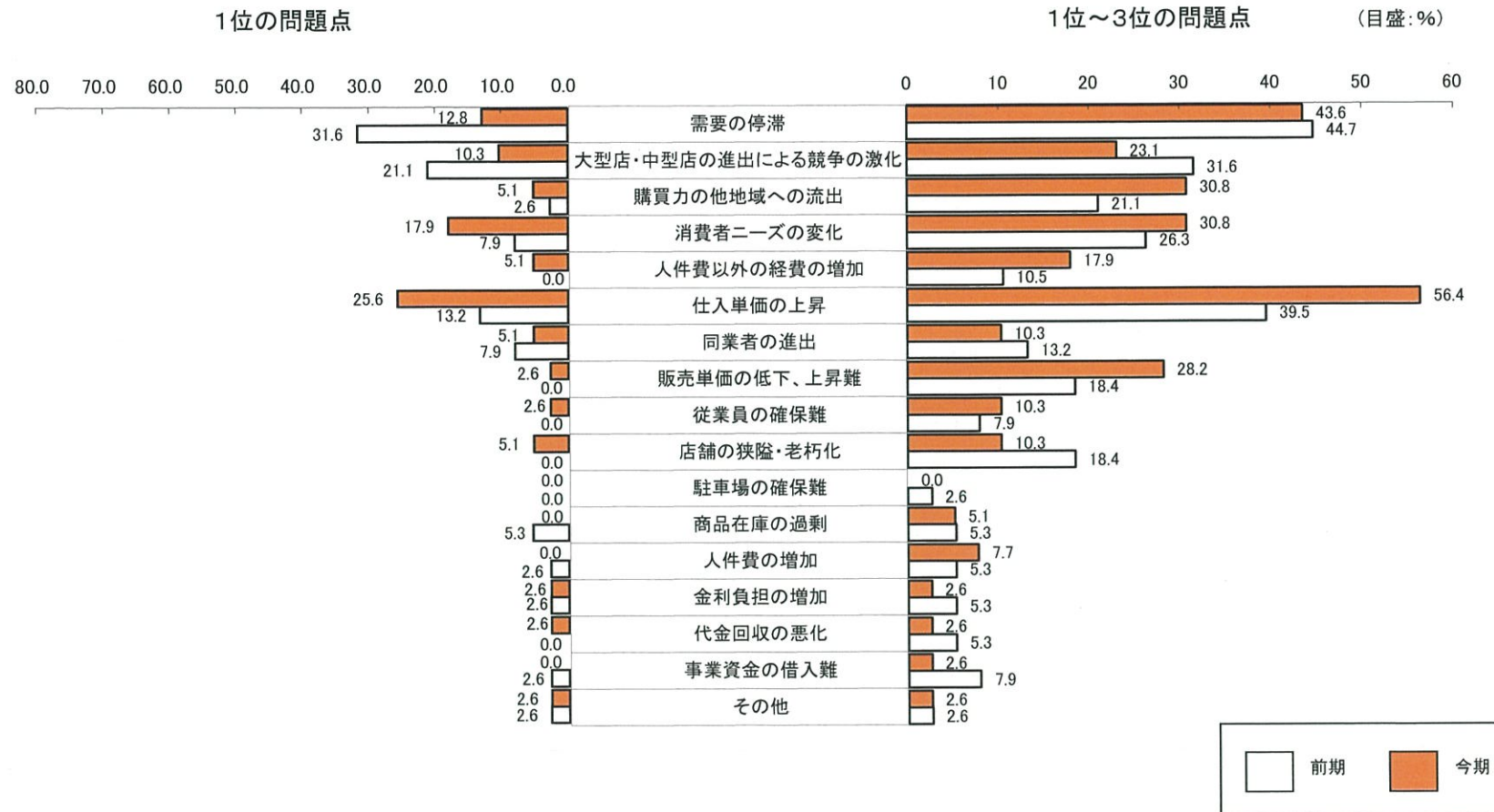
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

小売業の推移

経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



サービス業の推移

売上高

<今 期>



雨

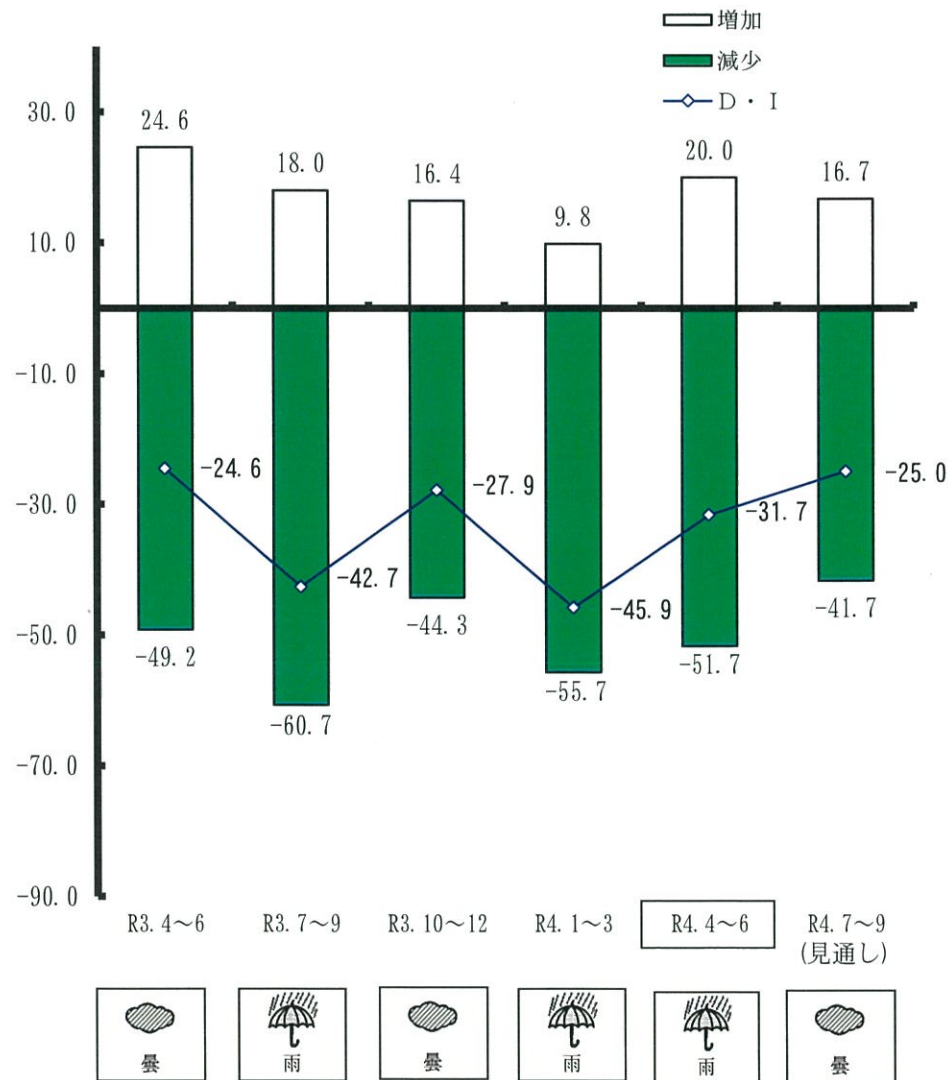
<来期見通し>



曇

今期は、売上高増加企業の割合が増加に転じて10.2ポイント増加、また、売上高減少企業の割合が4.0ポイント減少したため、売上高D・Iは14.2ポイント上昇し、△31.7まで改善しました。

来期は、売上高増加を予想する企業の割合が3.3ポイント減少するものの、売上高減少を予想する企業割合が10.0ポイント減少することが見込まれることから、売上高D・Iは改善傾向が続き、マイナス幅を更に縮小する見通しです。



サービス業の推移

採算

<今 期>

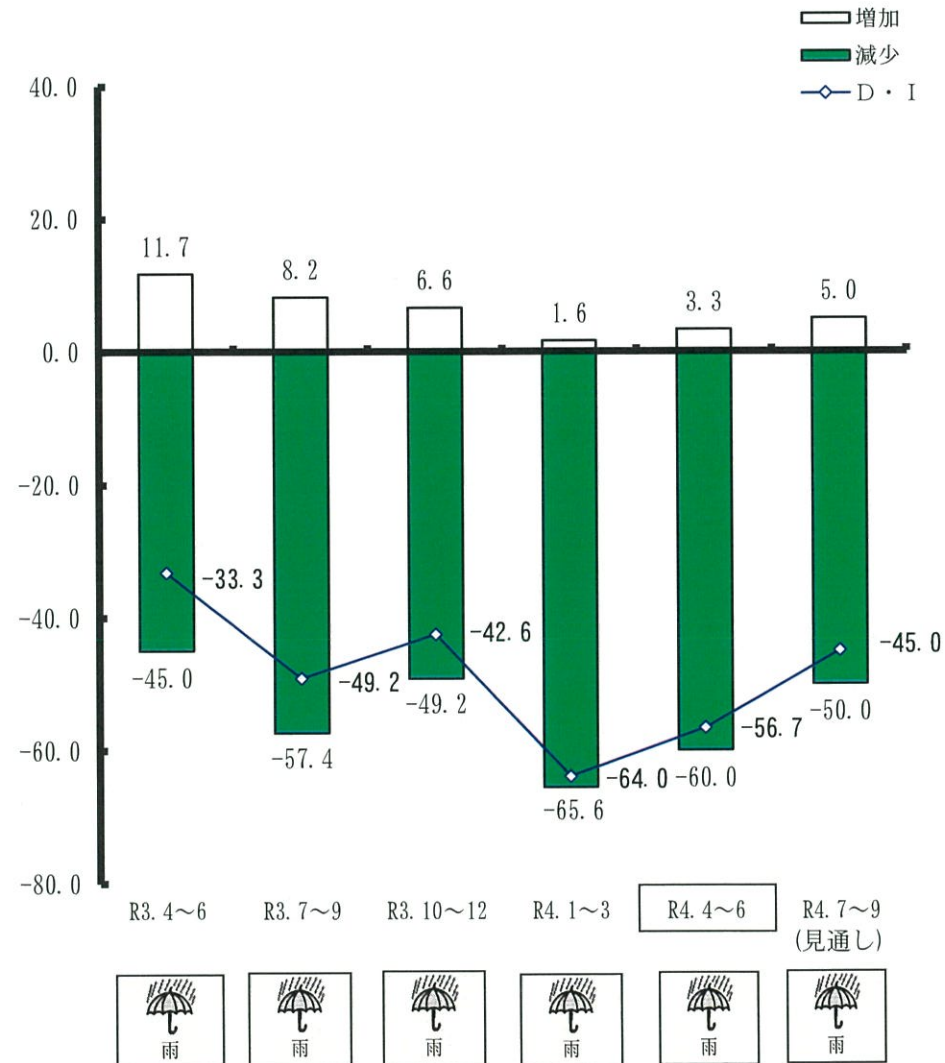


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業割合が1.7ポイント増加し、また、採算が悪化した企業割合が5.6ポイント減少したことから、採算D・Iは上昇に転じ、7.3ポイント上昇して、△56.7まで改善しました。

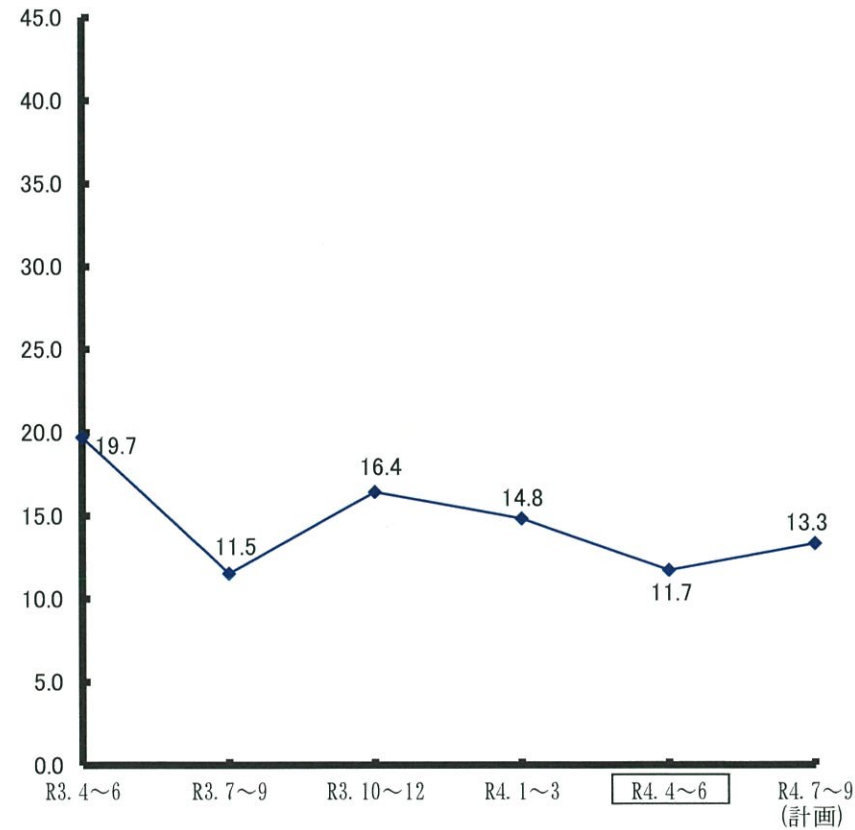
来期は、採算の改善を予想する企業割合が引き続き増加し、また、採算の悪化を予想する企業割合が減少することから、採算D・Iは今期に引続き上昇し、△45.0まで改善する見通しです。



設備投資

今期設備投資を実施した企業数の割合は、前期に引続き減少し11.7にとどまりました。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は増加に転じ、13.3まで増加する見通しです。



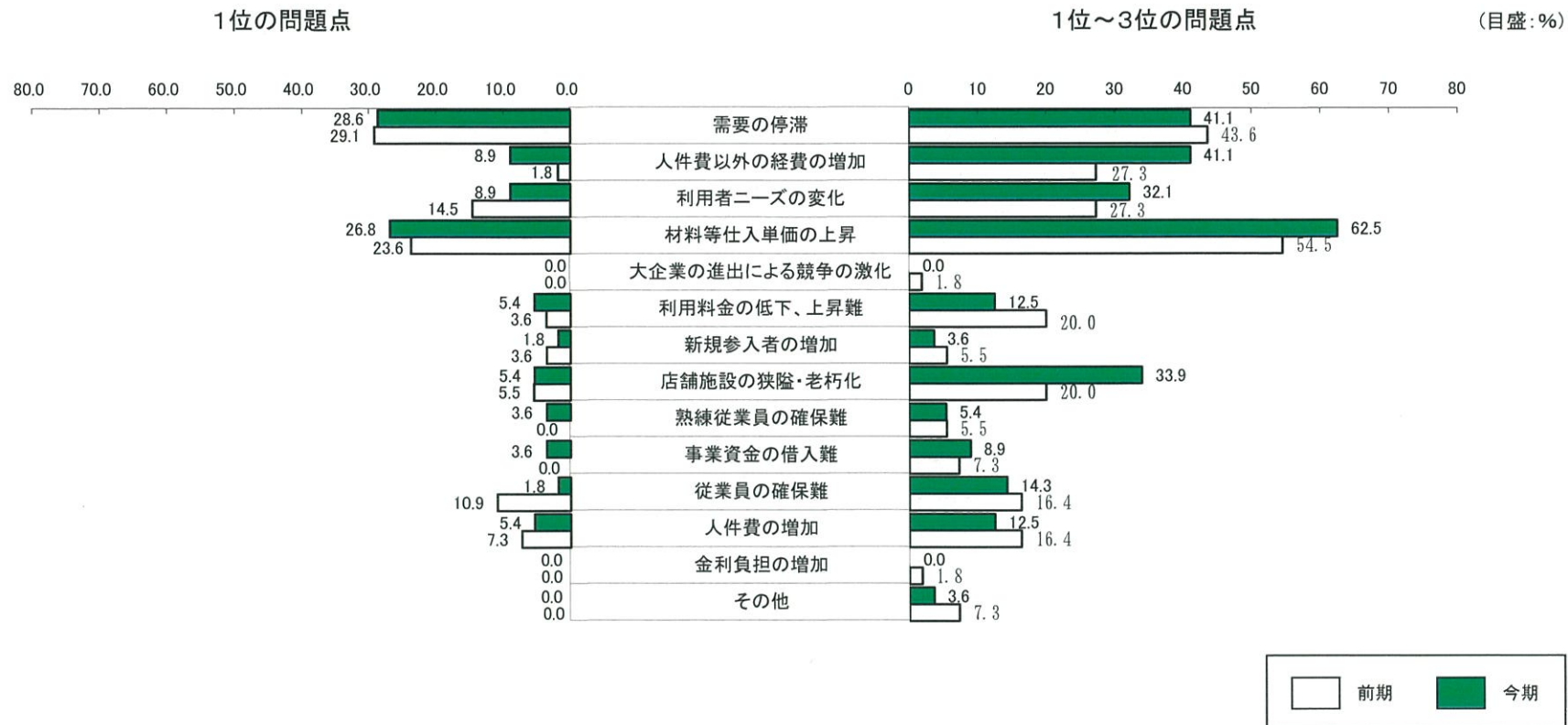
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

サービス業の推移

経営上の問題点

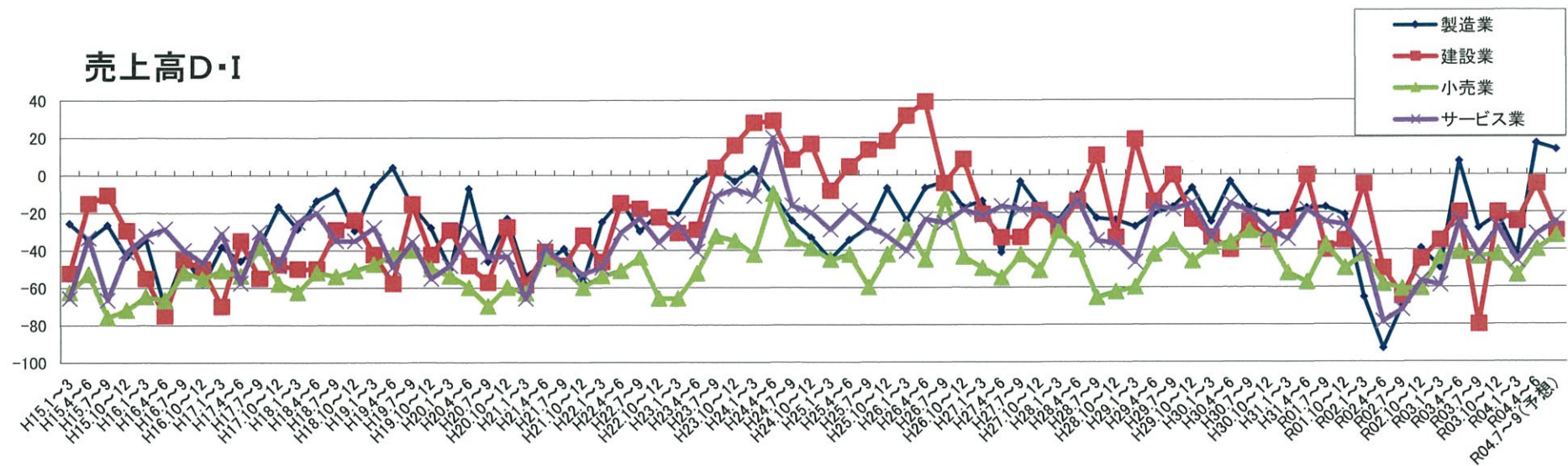
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)

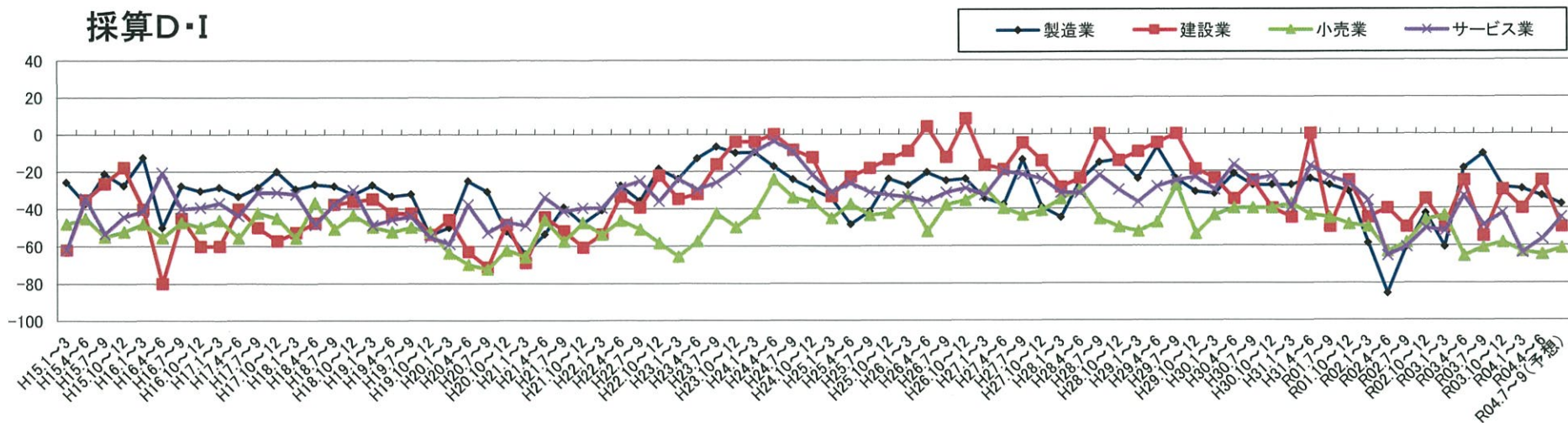


全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

売上高D・I



採算D・I



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、陸前高田、葛巻町、岩手町、紫波町
(商工会名) 西和賀、岩泉、普代、軽米町、九戸村
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調 査 対 象 期 間 令和4年4月～6月を対象とし、調査時点は令和4年6月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種 \ 項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)	30 (20.0)	30 (20.0)	100.0
建 設 業	20 (13.3)	20 (13.3)	100.0
小 売 業	40 (26.7)	40 (26.7)	100.0
サ ー ビ ス 業	60 (40.0)	60 (40.0)	100.0
	150 (100.0)	150 (100.0)	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、デフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（上昇、好転、長期化）企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものであります。